

中井真孝先生古希記念号刊行に当たって

佛教大学教授中井真孝先生は、本年めでたく古希を迎えられました。まことにおめでとうございます。今年度の『歴史学部論集』第四号は、これまでの先生の多大のご学恩にお答えするために、学部教員の発起により「中井真孝先生古希記念号」としての刊行となりました。

先生は一九七四年に佛教大学に御奉職になられて、爾来三十有余年にわたりご在職になられました。先生は精力的なご自身のご研究に加え、学部・大学院での研究・学修の充実・発展と後進の育成にも多大のご尽力をされました。その傍ら、一九九九年から二〇〇五年には佛教大学学長を努められ、また二〇一二年には佛教教育学園理事長に就任されています。歴史学部では、理事長就任後は嘱託教授として、また現在は特別任用教授として、引き続き学部・大学院の講義を担当いただいております。

改めて申すまでもなく、先生は古代史・仏教史を専門とされ、多くのすぐれた業績をお持ちです。古代史・仏教史の研究では『日本古代の仏教と民衆』（評論社、一九七三年）、『日本古代仏教制度史の研究』（法蔵館、一九九一年）などの高く評価される業績をお持ちです。特に法然上人のご研究では、『法然伝と浄土宗史の研究』（思文閣出版、一九九四年）をはじめ、法然上人の生涯・業績に焦点を当てた『佛教大学鷹陵文化叢書十二 法然絵伝を読む』（思文閣出版、二〇〇五年）と『絵伝にみる法然上人の生涯』（法蔵館、二〇一一年）などのほか、最新刊『法然上人絵伝の研究』（思文閣出版、二〇一三年）を刊行され、法然研究を牽引するお一人であります。

先生は、多くの優れた研究業績に示されておりますように、佛教大学の史学研究、いわゆる佛大史学の発展と伝統の形成に大きな役割を果たされたお一人で、先生の多方面にわたる研究活動が佛教大学歴史学部の開設に繋がっていることは申すまでもありません。歴史学部は二〇一〇年に日本で最初の歴史学専門の研究・学修・教育の場として開設され、今年度完成年度を迎えました。前身の文学部史学科は一九六五年に開設されましたが、歴史学部の開設は佛大での史学研究・学修および教育の伝統を引

き継いだ、発展の現れでもあります。また文学部史学科の開設とともに鷹陵史学会の創立、研究紀要『鷹陵史学』の発刊もあり、現在は歴史学部所管となっております。これも先生のご研究も含めた佛大史学の発展と伝統の形成の基盤でありました。

最後に、大学・歴史学部へのさらなるご尽力をお願い致しますと共に、本論文集を御献呈申し上げ、先生の一層のご活躍とご健勝を祈念致します。

平成二十五年十一月

歴史学部長 渡 邊 忠 司